

● 地域提案型

平成22年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	中華人民共和国
2. 事業名	中国山東省のための環境保全協力事業II
3. 事業の背景と必要性	山東省は、中国の沿海部に位置し、中国内でも特に経済成長の著しい地域の一つであると同時に、環境政策にも積極的に取り組んでいる。しかしながら、大気汚染、水質汚濁など、環境問題はいまだに深刻である。このような状況のもと、2007年8月山東省人民政府外事弁公室及び環境保護局（現在の環境保護庁）から和歌山県に環境問題解決のための協力依頼があり、友好提携をベースとした国際協力として取り組み始めた。一般的に環境問題は、大気、水質、土壌等、多分野の問題が同時に発生することが多く、特定の分野のみに特化した専門家の育成よりも、複数の分野に精通した「環境技術専門官」を育成する必要がある。そのため、当事業では、土壌、廃棄物対策、自然環境保全における知識・技術を移転し、山東省政府関係者、省内自治体の環境担当者の中に「環境技術専門官」を育成する。
4. プロジェクト目標	豊富な環境技術と知識を習得した人材を育成し、山東省全体の環境に対する意識の向上を図る。特に土壌汚染改善、廃棄物対策・循環型社会の推進、自然環境保全についての技術移転を図る。
5. 対象地域	山東省
6. 受益者層	山東省住民
7. 活動及び期待される成果	<p><成果></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 山東省政府環境技術を習得し、環境関係法の整備、運用にも精通した「環境技術専門官」を育成することで、総合的な環境問題の解決と予防が可能となる。 2. 山東省内企業の環境担当者が、環境技術を習得し、和歌山県の環境問題解決の事例を学ぶことで、公害を出さない企業作りに努めるとともに、環境保全の意識を啓発出来る。 <p><活動></p> <p>1-1 環境技術者派遣で、山東省政府関係者、省内自治体の環境担当者、省内企業環境担当者に対して、山東省内各地で講義を行い、省内の現場において現場指導のノウハウを教授。</p> <p>1-2 環境研修団の受入で、山東省政府関係者、省内自治体の環境担当者、省内企業環境担当者に対して、具体的な事例を紹介しながら、専門的な技術と法整備に必要な知識とその運用について教授する。</p> <p>2-1 環境技術者派遣で、山東省内企業の環境担当者に対して、山東省内各地で講義を行い、省内の現場において公害防止技術の紹介や、環境保全に関する啓発を行う。</p> <p>2-2 環境研修団の受入で、山東省内企業の環境担当者に対して、具体的な事例を紹介しながら、実際に和歌山県内の環境問題対策に取り組んでいる企業の視察を行う。</p>
8. 実施期間	2011年6月～2014年3月
9. 事業費概算額	14,123千円
10. 事業の実施体制	日本；和歌山県企画部企画政策局文化国際課、環境生活部環境政策局環境生活総務課 中国；山東省人民政府環境保護庁
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	和歌山県
2. 対象国との関係、協力実績	1984年に友好県省議定書を締結し、様々な分野における交流を継続してきたが、2007年11月20日、本県知事と山東省長の間で今後の実質的な効果の期待出来る具体的な交流内容を盛り込んだ「和歌山県・山東省友好交流関係の発展に関する覚書」に調印し、この中で、山東省の環境問題の解決に向けた取り組みを行うことを確認した。